

令和 8 年度

大阪府公立高等学校等アドミッションポリシー（求める生徒像）並びに学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

< 抜粋 >

【大阪府立枚方津田高等学校】

学校名	アドミッションポリシー	選抜の種類	学力検査問題の種類			倍率のタイプ
			国語	数学	英語	
枚方津田	本校は「確かな学力」の確立に努め、英語専門コースなどを通じて国際的な視点を身につける意欲のある生徒を求めています。 また、生活規律を重んじると同時に、活発なクラブ活動や学校行事等を通じて、生徒の「生きる力」を育みます。 1) 本校志望の意志が強く、自ら進んで学力の向上をめざす生徒 2) 生活規律を守り、他者に対し思いやりをもち、誠実に行動する生徒 3) クラブ活動や学校行事に積極的に参加し、他者と協働しながら、目標に挑戦しようという意欲のある生徒 4) 英語専門コースで自分の力を伸ばしていこうとする意欲のある生徒	一般	B	B	B	III

アドミッションポリシー（求める生徒像）

アドミッションポリシーとは、学校が求める生徒像、期待する生徒の姿を示したものであり、受験生にとって、志望校を決定する大きな判断材料の一つになるとともに、受験生が、出願時に自己申告書を作成する際に参照するものです。

高等学校においては、総合点（学力検査の成績等＋調査書中の評定）等とともに、このアドミッションポリシーに基づいて、受験生の可否を判定することになります。

なお、各学校はスクール・ミッション（各校の存在意義や期待される社会的役割、めざす学校像等）に基づき、グラデュエーション・ポリシー（育成をめざす資質・能力に関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）、アドミッションポリシー（入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針）を定めています。スクール・ミッション及び各ポリシーについては、府ウェブページ「スクール・ミッション、スクール・ポリシー」をご確認ください。

(URL : <https://www.pref.osaka.lg.jp/o180040/kotogakko/schoolmission/index.html>)

(参考) 大阪府公立高等学校入学者選抜制度改善方針（平成 26 年 11 月）より

➤ 一般選抜（通信制の課程を除く。）及び実技検査を実施する特別選抜

ボーダーゾーン内の生徒のうち、自己申告書及び調査書の「活動/行動の記録」の記載内容により、自校のアドミッションポリシー（求める生徒像）に極めて合致する者を総合点の順位に関わらず優先的に合格とする。

学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

令和 8 年度大阪府公立高等学校入学者選抜における「学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ」は各高等学校長が選択し、所管の教育委員会が決定しています。

(注 1) 一般入学者選抜における問題の種類及び特徴

種 類	特 徴		
	国 語	数 学	英 語
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。	基礎的な計算問題を出题するとともに、「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法についての理解を問ううえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 標準的・発展的な内容の英文の中から、話題や論理の流れに沿って必要な情報を素早く読み取る力を問う問題とともに、一定量以上のまとまりのある内容を英文で適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。 ※問題文は、指示文を含め、すべて英語で構成する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題とともに、「読む・聞く・書く」技能を統合的に活用する力を問う問題を出题する。

* 英語の学力検査は、「大阪版 中学校で学ぶ英単語集（令和 4 年 6 月改訂）」から出题します。

* A、B 問題のリスニングテストでは、同一問題を使用し、配点は約 20%とします。

* C 問題のリスニングテストでは、A、B 問題と異なる問題を使用し、配点は約 33%とします。

(注 2) 一般入学者選抜（全日制の課程）における学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ
総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率は、表 2 のとおり 5 つのタイプである。

表 2

倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	参 考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	630点	270点	900点
II	1.2倍	0.8倍	540点	360点	
III	1.0倍	1.0倍	450点	450点	
IV	0.8倍	1.2倍	360点	540点	
V	0.6倍	1.4倍	270点	630点	